

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	SOI STANCE KIDS (保育所等訪問)			
○保護者評価実施期間	令和8年3月15日		～	令和8年3月29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数)	1
○従業者評価実施期間	令和8年3月15日		～	令和8年3月29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○訪問先施設評価実施期間	令和8年3月15日		～	令和8年3月29日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数)	1
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月15日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	作業療法士・言語聴覚士等の専門職が在籍しており、日常生活動作、発話・発音、書字、姿勢などを含めた多角的な評価が可能であり、児童の特性を総合的に捉えた支援ができる。	専門職による評価をもとに、学習面だけでなく、その土台となる認知機能や姿勢・身体機能、日常生活動作にも着目した支援提案を行っている。また、保育所・学校現場で実行可能な形に落とし込み、具体的かつ実践しやすい支援方法として教員へ提示することを意識している。	今後は、評価から支援提案までの流れを整理し、アセスメント内容と支援方法を統一し、定期的な再評価を取り入れ、支援効果の可視化と継続的な改善につなげていく。
2	児童の特性に応じた環境設定(座位姿勢、学習環境、活動環境等)の提案が可能であり、学校生活の中で実行可能な形で支援を調整できる。	教室環境や活動場面を実際に確認したうえで、無理なく取り入れられる環境調整や関わり方を具体的に提案している。また、教員の負担を増やさないう、既存の環境や流れの中で実践可能な方法を優先して提案することを意識している。	今後は、環境調整の内容を共有しやすくするため、写真や図を用いた視覚的な提案資料の整備を進めていく。また、複数の教員間でも共通理解が図れるよう、簡易マニュアル化や校内共有の仕組みづくりを支援していく。
3	教員および家族と密に連携を図りながら、児童の特性や支援方法について情報共有を行い、学校・家庭を含めた一貫した支援体制の構築が可能である。	教員の困りごとを丁寧に聞き取り、現場のニーズに即した助言や支援提案を行うことで、実践につながる連携を意識している。また、保護者へも専門的視点からの情報提供を行い、家庭での関わり方との一貫性を持たせる支援を行っている。	今後は、定期的な情報共有の機会(ケース会議等)を設け、学校・家庭・事業所間での継続的な連携体制の強化を図る。また、児童の将来像を見据え、進路や社会参加を意識した中長期的な支援視点の共有を進めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門職による多角的な評価が可能である一方、評価内容が専門的になりやすく、学校現場での理解や実践につながりにくい場合がある。	専門性の高い評価を重視しているため、教員にとって分かりやすい表現や実践レベルへの落とし込みが十分でない場合がある。	評価結果を、具体的な支援方法や関わり方に変換した資料の整備(簡潔なフィードバックシート等)を進め、誰でも実践できる形での共有を強化する。また、教員への説明機会を充実させ、理解と実践の橋渡しを行う体制を整えていく。
2	環境調整の提案を行っているが、学校の人的・物理的環境によっては十分に実施できない場合がある。	学校ごとに環境や運営体制が異なるため、提案内容が現場の状況に合わない場合や、実施の優先度が下がることがある。	学校の実情を踏まえ、負担が少なく取り入れやすい環境調整の優先順位を明確にした提案を行う。また、小さな工夫でも効果が出る事例を共有することで、実践へのハードルを下げる工夫を進めていく。
3	教員や保護者との連携を重視しているが、関係者のスケジュールや状況により、十分な情報共有の機会が確保できない場合がある。	学校・家庭・事業所それぞれの役割や時間的制約があるため、継続的かつタイムリーな情報共有の仕組みが十分に整備されていないこと。	短時間でも共有できるよう、連携シートやICTツール等を活用した効率的な情報共有の仕組みを整える。また、定期的なケース会議や振り返りの機会を設定し、継続的な連携体制の強化を図る。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 SOI STANCE KIDS (保育所等訪問)

公表日 令和8年3月30日

利用児童数 令和8年3月29日 回収数 1

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。		1			まだ1回した訪問してもらっていないのでわからない	訪問時の様子を情報共有するように努める
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	1					
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	1					
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	1					
適切な 支援の 提供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員(職種や人数)体制だと思えますか。	1					
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。	1					
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画(個別支援計画)が作成されていると思えますか。	1					
	8	保育所等訪問支援計画(個別支援計画)には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思えますか。	1					
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思えますか。	1					
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思えますか。	1					
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思えますか。	1					
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1					
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。				1		
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていますか。	1					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思えますか。	1					
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1					
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思えますか。	1					
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思えますか。	1					
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思えますか。	1					
22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思えますか。	1						
非常 時 等 の	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	1					
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思えますか。	1					

対 応	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	1					
	満 足 度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1				
		27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	1				
		28	事業所の支援に満足していますか。	1				まだ1回した訪問してもらっていないので全体的にわからない部分が多いが今後期待したい

公表	訪問先施設からの事業所評価の集計結果
----	--------------------

事業所名	公表日	令和8年3月30日
SOI STANCE KIDS (保育所等訪問)	利用児童数	令和8年3月29日 回収数 1

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	1				
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	1			専門的な意を共有しながらこちらの支援にも活かしていきたい	
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	1				
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	1				
5	事業所からの支援に満足していますか。	1				
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	SOI STANCE KIDS (保育所等訪問)		公表日			令和8年3月30日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 体制・ 整備・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	4			
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	4			
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4			
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4			
適切な 支援の 提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	4			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	4		・事前に訪問先施設担当者とは情報共有を行っている	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4			
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		・標準化された検査や事業所独自のアセスメントを使用	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	4			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4			
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	4			
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	4		・記録をとって変化が分かるようにしている		
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4				
関係 機 関 や	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		・基本的に児発管が参加	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4			

保護者との連携	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	4			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子どもの子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3	1		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4			・LINEにて情報共有を行っている
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	4			・事前に説明を行っている
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	4			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4			・LINEや対面にて実施
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	1		・保護者会等は開催していない
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4			
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	4			・訪問先からの情報収集とアセスメント結果の共有などを実施している
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	4			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	4			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	4			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4			